

サンヨー堂本社ビル

東京都日本橋堀留

1990



外観

この建物は、株式会社サンヨー堂の創業110周年記念事業として、錦糸ビルの完成に引き続き、旧本社ビルを取り壊して建設されたものである。サンヨー堂の知名度を高めつつ、土地の有効利用により安定収入を確保するのが目的である。

建物のデザインは、サンヨー堂の伝統と、堅実な経営理念を感じさせるものとし、重厚さと現代的なシャープさを表現することに努めた。道路斜線部分はアルミパネルによって大きな屋根の表現とし、隅切り部分はハーフミラーカーテンウォールとして外壁の御影石と対比させ、軽快感を与えるようにした。変形した敷地形状であったが、無柱の執務空間を創ることに成功した。

都心部のビルにふさわしい、24時間稼働のインテリジェントオフィスビルを目指し、設備対応、セキュリティには十分な配慮を行っている。完成後、最上階にはサンヨー堂本社部門のみが錦糸ビルから戻り、その他の階は賃貸ビルとして活用されている。



エントランス外観



エントランス内部

株式会社 茜 設計

敷地面積 / 373.63㎡
建築面積 / 313.62㎡
延床面積 / 2,602.20㎡

構造 / 鉄骨構造
階数 / 地上8階建・地階2階
施工 / 株式会社 カノコーポレーション